

認定絵本士養成講座に関する意識調査研究の一考察

古川 元視・石川千穂子

【要旨】

別府大学短期大学部では、令和4年度から認定絵本士養成講座の授業を実施している。初年度ということもあり、今後の養成講座に活かすことが目的で、受講者40名の学生と現場に勤務している新規保育教諭（以下「新任教諭」）32名、中堅保育教諭（以下「中堅教諭」）22名に認定絵本士に対する意識調査を行った。

学生は認定絵本士養成講座を受講することで、絵本への関心や興味が深くなり、絵本の魅力を子どもだけではなく、他の教員、保護者、地域に広げていこうという意欲や責任が高まった。認定絵本士を受け入れる就職先も、認定絵本士の資格者には、期待を寄せていることが分かった。今後は、認定絵本士養成講座や認定絵本士についての広報活動を積極的に実施し、県内の小学校、認定こども園、幼稚園、保育所に周知し、認定絵本士が活躍できる環境を整えてもらうようにしていきたい。

1 はじめに

(1) 絵本の重要性

幼児期及び児童期において、絵本を読むという重要性は今まで多く指摘をされている。仲野¹⁾は、5年間の日々の保育に絵本を取り入れた活動の研究で、園児に豊かな想像力・表現力・思考力・創造力が培われていると述べている。村田や黒岩²⁾は、「保育のなかで絵本を読む最大のねらいは想像力を育むことだが、そこには2つの方向がある。すなわち、絵本を読んだときの想像力の躍動が、独立峰的でプライベートな内面世界へ広がっていく方向と、連峰的にイメージや物語の共有や連帯へと展開していく方向である。」と絵本が子どもの想像力を育むことを示している。

筆者（古川）は、2020年度に実施した「大学生の絵本に関する調査研究の一考察—就学前から中学生までの絵本体験—」³⁾において将来保育者や教育者志望の短期大学部第1学年及び第2学年合計117名を対象に就学前から中学校までの絵本体験の調査を実施し、その結果を分析・考察した。短期大学生は、絵本の魅力を感じており、好きな絵本も意識しているが、課題が多く見られた。第一に、成長過程から見ると、保育園・幼稚園期に、家族から薦められた絵本が

少なかった。また、絵本を小学校中学年以降読まなくなっていた。小学校期や中学校期では多様な読書活動を行っていなかった。第二に、読書傾向から見ると、絵本作家やシリーズにこだわって読んだ経験が少なく、絵本のジャンルに偏りがあった。実際に、本学の「絵本の必読書100選」（以下必読書）を手がかりに実態調査をすると、課題なのは、図鑑や科学読み物等の読書経験が少なかったということだった。

保育者や教育者志望の短期大学生に対して、多様なジャンルの絵本を読み、同時に多様な読書活動を経験することが求められる。多様なジャンルの絵本を紹介したり、目的を持った読み方として多様な読み方（作者にこだわって読む、シリーズにこだわって読む、作家にこだわって読むなど）を経験したりするなどによって、絵本の魅力の重要性に気付かせなければならない。

(2) 認定絵本士とは

このような課題が明確になった時期に、絵本専門士委員会（事務局：国立青少年教育振興機構による）「認定絵本士」という資格があることを知り、それを学生に取得させることは、将来保育者や教育者を目指す学生にとって、有意義ではないかと考え、本学でも昨年度開設し、今

年度実際に授業を実施することになった。認定絵本士養成制度は、教育課程に位置付けられた授業科目の中で、絵本専門士委員会が定める「認定絵本士養成講座カリキュラムに関するガイドライン」に基づいた講座（30科目（コマ）、50.5時間）を開設し、学生がその講座が含まれる授業科目の単位を修得することにより、認定絵本士の称号を得ることができるものである。

2 調査の目的

- (1) 令和4年度別府大学短期大学部認定絵本士養成講座「子どもと絵本Ⅰ・Ⅱ」の科目履修学生に履修前と履修後にアンケートを実施し、意識の違いを把握する。
- (2) 令和4年度新任教諭と中堅教諭を対象に認定絵本士について同じアンケートを実施し、意識の違いを把握する。
- (3) 意識調査で明らかになった成果や課題をまとめ、次年度への改善に繋げる。

3 調査方法

(1) 調査の対象

- ① 別府大学短期大学部認定絵本士養成講座「子どもと絵本Ⅰ・Ⅱ」の科目履修学生40名
- ② 幼保連携型認定こども園新任教諭研修会参加者32名
- ③ 幼保連携型認定こども園中堅教諭資向上研修参加者22名

(2) 調査方法

- ① 科目履修の学生は、「子どもと絵本Ⅰ・Ⅱ」の講義内でアンケートを実施する。
- ② 幼保連携型認定こども園の保育教諭については、各研修会（新任教諭研修及び中堅教諭資質向上研修会）においてアンケートを依頼する。

(3) 調査実施日

- ① 別府大学短期大学部認定絵本士養成講座「子どもと絵本Ⅰ・Ⅱ」の科目履修学生
第1回目調査：令和4年4月15日（金）
第2回目調査：令和5年1月27日（金）
- ② 幼保連携型認定こども園新任教諭研修会参加者：令和4年7月13日（水）
- ③ 幼保連携型認定こども園中堅教諭資向上研

修参加者：令和4年11月15日（水）

(4) 調査問題の実際

① 別府大学短期大学部認定絵本士養成講座「子どもと絵本Ⅰ・Ⅱ」の科目履修学生対象（第1回）

- ① 絵本は、好きですか。
ア とても好き イ 好き ウ 嫌い
エ とても嫌い
- ② 今まで絵本を読んでいたか。
ア とても読んだ イ 読んだ ウ あまり読んでいない エ 読んでいない
- ③ なぜ、認定絵本士の資格を取ろうと思いましたか。（複数回答可）
ア 絵本が好きだから イ 就職して子どもたちに絵本を読んだり、活動したりしたいから ウ 就職して、地域で絵本を使った活動をしたいから エ 資格がただで取れるから オ その他（ ）
- ④ 認定絵本士の資格を取ったら、どのようなことを園や学校でやりたいですか。（複数回答）
ア 子どもたちにたくさん絵本を読んであげたい イ 子どもたちと読書活動（紙芝居、読み聞かせ、劇など）をしたい ウ 保護者に読書の意義を伝えたい エ 同僚に絵本の意義を伝えたい カ その他（ ）
- ⑤ 認定絵本士の資格を取ったら、どのようなことを地域でやりたいですか。（複数回答可）
ア 地域の人と一緒に読み聞かせをしたい イ 読書会をしたい ウ 個人図書館を開館したい エ その他（ ）

② 別府大学短期大学部認定絵本士養成講座「子どもと絵本Ⅰ・Ⅱ」の科目履修学生対象（第2回）

- ① 絵本は、好きですか。
ア とても好き イ 好き ウ 嫌い
エ とても嫌い
- ② 認定絵本士の授業と並行して、絵本を読みましたか。
ア とても読んだ イ 読んだ ウ あまり読んでいない エ 読んでいない
- ③ なぜ、認定絵本士の資格を取ろうと思いましたか。（複数回答可）
ア 絵本が好きだから イ 就職して子どもたちに絵本を読んだり、活動したりしたいから ウ 就職して、地域で絵本を使った活動をしたいから エ 資格がただで取れるから オ その他（ ）
- ④ 認定絵本士の資格を取ったら、どのようなことを園や学校でやりたいですか。（複数回答）
ア 子どもたちにたくさん絵本を読んであげたい イ 子どもたちと読書活動（紙芝居、読み聞かせ、劇など）をしたい ウ 保護者に読書の意義を伝えたい エ 同僚に絵本の意義を伝えたい カ その他（ ）
- ⑤ 認定絵本士の資格を取ったら、どのようなことを地域でやりたいですか。
ア 地域の人と一緒に読み聞かせをしたい イ 読書会をしたい ウ 個人図書館を開館したい エ その他（ ）
- ⑥ 認定絵本士の資格を取ったら、絵本専門士の資格を取りたいですか。
ア 是非取りたい イ 取りたい ウ あまり取りたくない エ 取りたくない オ わからない

- ⑦ 授業前と授業後で変わったことなど、特記すべきことがあったら書いてください。
- ⑧ この1年間で、必読書を含めて何冊の絵本を読みましたか。

③ 幼保連携型認定こども園新任教諭研修会参加者及び幼保連携型認定こども園中堅教諭資向上研修参加者対象

- ① 貴方は「認定絵本土」という言葉を聞いたことがありますか。
ア ある イ ない
- ② 質問1で「ある」と回答した方にお聞きします。それは何を通じて知りましたか？
ア 「絵本専門士」の方を通じて イ 読み聞かせワークショップ等で ウ 書店のチラシや絵本コーナーで エ 大学配布のチラシを見て オ 大学HPを見て カ その他（ ）
- ③ 貴方は「絵本専門士」という資格があることを知っていますか。
ア 知っている イ 聞いた事はあるが詳しくは知らない ウ 知らない
- ④ 質問3で「知っている」と回答した方にお聞きいたします。「絵本専門士」の資格を持っている方に園から依頼したことがありますか。
ア 依頼して講演会を開催した イ 依頼してワークショップを開催した ウ 依頼して読み聞かせを開いた エ 依頼したことはない オ その他（ ）
- ⑤ 「絵本専門士」や「認定絵本土」について興味がありますか
ア 大変興味がある イ 興味はある ウ 興味はあまりない エ 興味はない
- ⑥ 質問5で興味があると回答した方にお聞きいたします。どのようなことについて知りたいですか。
ア 資格取得の仕方について イ 金額について ウ 内容について エ 学びについて オ その他
- ⑦ 「絵本専門士」についてどのようなことを園で実践してもらいたいと思いますか
ア 絵本についての知識を教員に指導・助言してほしい イ 読み聞かせやお話の会の活動を実践してもらいたい ウ 保護者に対してワークショップを開催してもらいたい エ その他（ ）
- ⑧ 認定絵本土養成制度は、絵本専門委員会が大学等と連携し、「認定絵本土」を養成する新たな指導者養成制度です。この制度によって取得した学生があなたの園に就職した場合、どのようなことを「認定絵本土」に期待しますか
ア たくさん本を読んでもらいたい イ 親に絵本の紹介してもらいたい ウ 職員に絵本についての話をしてもらいたい エ その他（ ）
- ⑨ 「認定絵本土」資格取得した学生に就職してもらいたいですか。
ア 是非とも就職してほしいと思う イ できれば就職してほしいと思う ウ 資格と就職とは関係がないと思うので就職してほしいとは思わない

【第1回目】



【第2回目】



図1 絵本の好き嫌い

第1回目も第2回目の調査においても、「とても好き」「好き」で100%である。第2回目「とても好き」が17.2%増えており、認定絵本土の講座と必読書などを組み合わせ、学生が絵本の魅力を味わった成果だと考える。

② 問題2の趣旨及び結果と考察

認定絵本土受講前と受講中の絵本の読書経験を問うた問題である。

【第1回目】



【第2回目】



図2 絵本の読書経験

認定絵本土受講後が、「とても読んだ」「読んだ」で100%になり、「とても読んだ」が35.9%も増えている。これは、教員やゲストスピーカーが授業中に絵本を紹介したことや必読書を設けたことが効を奏したと考えられる。

③ 問題3の趣旨及び結果と考察

認定絵本土の資格取得の理由を問うた問題である。

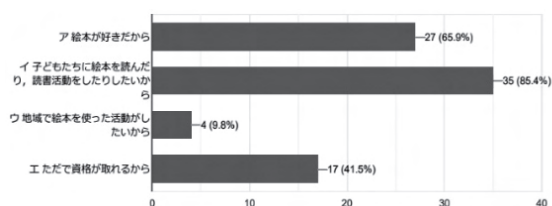
4 別府大学短期大学部認定絵本土養成講座「子どもと絵本Ⅰ・Ⅱ」の科目履修学生対象の第1回調査と第2回目調査の結果と考察

(1) 各質問の結果と考察

① 問題1の趣旨及び結果と考察

絵本の好き嫌いを問うた問題である。

【第1回目】



【第2回目】

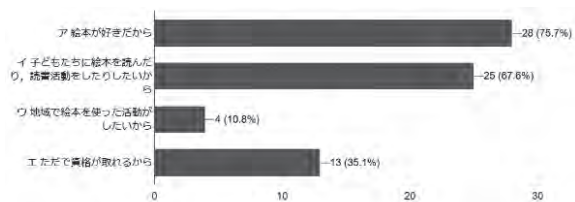


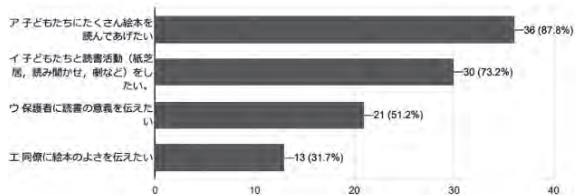
図3 認定絵本士の資格取得理由

第1回目と第2回目と同じ問いをしたが、「絵本が好きだから」「子どもたちに絵本を読んだり、読書活動をしたりたいから」が多かった。第2回目には、その他の理由として、「教員として子どもたちに絵本を紹介したいから、もっとたくさんの絵本を知りたいから」などが挙げられた。「子どもと絵本」の授業中に学生が実際に絵本を手を取ったり、ゲストスピーカーから紹介されたりなど絵本のよさに触れたからだと考える。

④ 問題4の趣旨及び結果と考察

認定絵本士の資格取得後にやりたいことを問うた問題である。

【第1回目】



【第2回目】

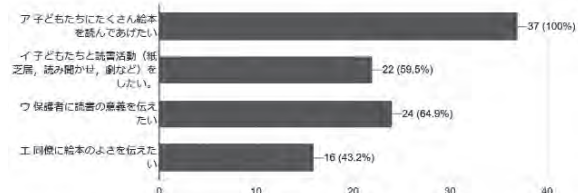


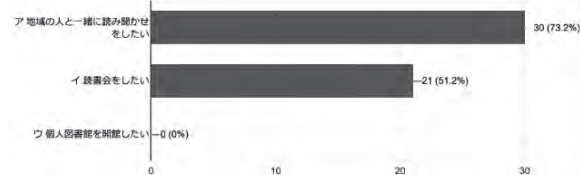
図4 認定絵本士資格取得後にしたいこと

第2回目も、子どもだけではなく、保護者や同僚にも絵本に関する活動をしたいと視野が広がったことが分かる。その他の理由として、「就職先が絵本を取り入れた保育を行っているので、その活動に参加したい」などが挙げられた。

⑤ 問題5の趣旨及び結果と考察

認定絵本士資格取得後の地域への貢献について問うた問題である。

【第1回目】



【第2回目】

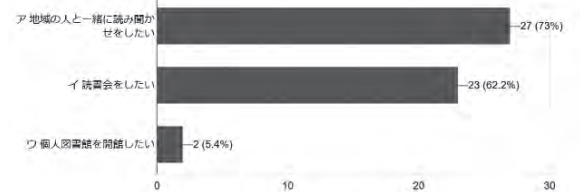


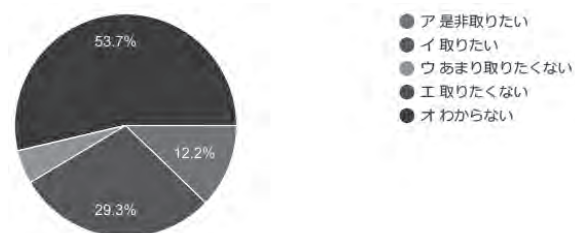
図5 認定絵本士の資格取得後の地域への貢献

第2回目も、「読書会をしたい」「個人図書館を開館したい」というのが増えている。これは、ゲストスピーカーの地域への活動などの話から具体的なことがイメージできたからだと考えられる。その他の理由として、「絵本に関するイベントの開催」が挙げられた。

⑥ 問題6の趣旨及び結果と考察

絵本の専門家である「絵本専門士」の資格の希望を問うたものである。認定絵本士として実践を積み、資質、能力がふさわしいと絵本専門士委員会から認められることにより、絵本の専門家である「絵本専門士」と認定される。

【第1回目】



【第2回目】



図6 絵本専門士の資格希望

第2回目が、「是非取りたい」「取りたい」が8.1%増えているが、「わからない」というのが半数いる。認定絵本土として実践を踏んでいく先で絵本専門士を目指していくことに期待したい。

⑦ 問題7の趣旨及び結果と考察

第2回目の調査のみ、授業前と授業後で絵本に関して変わったことなどを問うた。

その結果、「絵本は大人も楽しめる!」「絵本に対する見方や考え方が変わった」「初めてはただ絵本が好きで絵本についてもっと知りたいと思ひ、授業に参加していました。今は絵本の魅力や大切さを学び、たくさんの人に絵本を読んでもらえるように自分に出来ることをしてみようと思っています。」「絵本と一言言っても、作家さんや出版社の方、司書など様々な立場の人がいてそれぞれの角度からお話を聞いたことは大変有意義でした。それぞれの人がそれぞれの分野で一生懸命に仕事をして、一冊の本になるという当たり前のことですが、何となく知っているではなくきちんと学べて良かったです。」などの記述があった。絵本についての視野が広くなり、考え方が深くなったことが感じられる。

⑧ 問題8の趣旨及び結果と考察

第2回目の調査で認定絵本土の授業実施中に読んだ絵本の冊数(必読書含)を問うた。まずは、絵本の魅力を知って欲しかったからである。

表1 読んだ絵本の冊数

絵本の冊数	人数
1～100	6
101～200	21
201～300	8
301～400	5

学生は、この1年間でよく絵本を読んでいた。最低55冊、最高377冊であり、個人差があるのは、残念である。

(2) 別府大学短期大学部認定絵本土養成講座「子どもと絵本Ⅰ・Ⅱ」の科目履修学生対象の第1回調査と第2回目調査の全体考察

認定絵本土養成講座の受講後、学生は絵本に対しての意識や考え方が変わり、絵本に関する活動や絵本を読む意欲にも繋がっている。また、絵本の魅力を子どもだけではなく、保護者や地域へも伝えたいという貢献度も高くなっている。

5 新規教諭及び中堅教諭の「認定絵本土」についての調査の結果と考察

(1) 各問題についての結果と考察

① 問題1の趣旨及び結果と考察

「認定絵本土」の認知を問うた問題である。

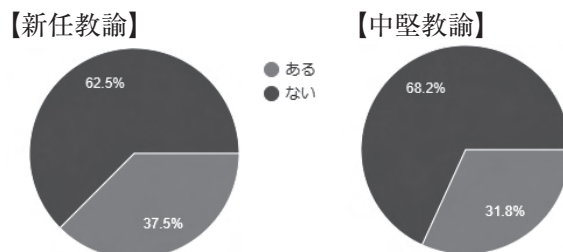


図7 認定絵本土の認知

「認定絵本土」という言葉の認識は、新任教諭37.5%に対して中堅教諭31.8%と新任教諭の認知度が高い。しかし、共に40%以下である。広報が必要である。

② 問題2の趣旨及び結果と考察

認定絵本土の認知方法を問うた問題である。

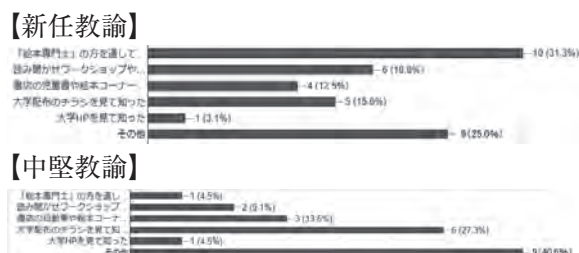


図8 認定絵本土の認知方法

認定絵本土の認知方法は、新任教諭は認定絵本土の方を通して、中堅教諭は、大学配布のチラシからが一番多い。新任教諭と中堅教諭の認知方法が違うのはおもしろい。

③ 問題3の趣旨及び結果と考察

認定絵本土の資格について問うた問題である。

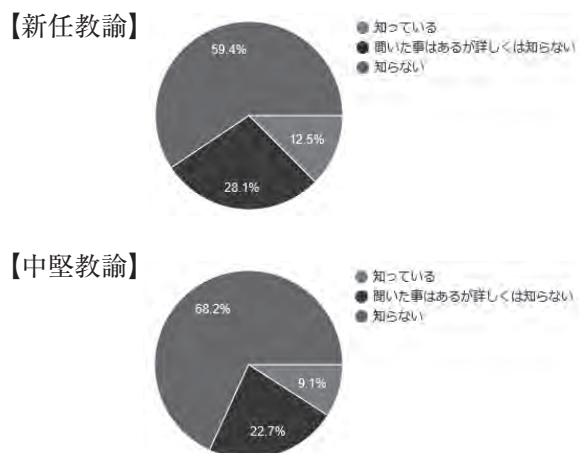


図9 認定絵本土の資格の認知

「知らない」と答えた教諭が新任教諭，中堅教諭ともに一番多く，6割以上も占める。今後，いろいろな機会を通じて広報をする必要がある。

④ 問題4の趣旨及び結果と考察

園から絵本専門士への依頼を問うた問題である。

【新任教諭】



【中堅教諭】



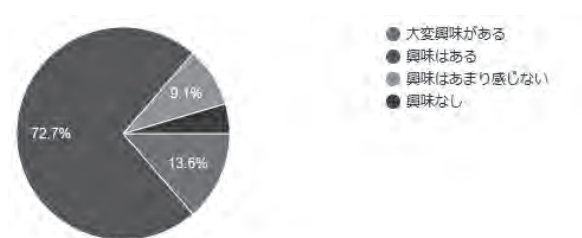
図10 認定絵本士への依頼

新任教諭，中堅教諭ともに，「依頼をしたことがない」が一番多い。保育所，幼稚園，子ども園などに働きかけ，認知度を上げることが必要である。

⑤ 問題5の趣旨及び結果と考察

絵本専門士や認定絵本士への興味について問うた問題である。

【新任教諭】



【中堅教諭】

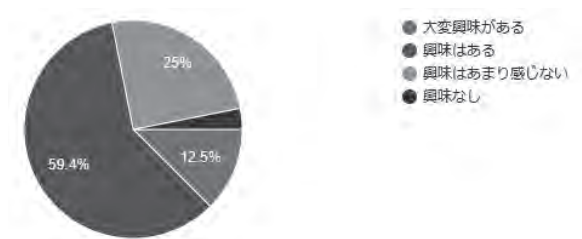


図11 絵本専門士や認定絵本士への興味

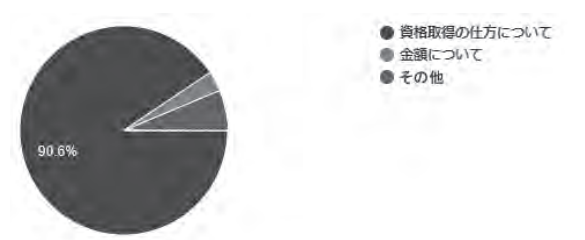
新任教諭，中堅教諭とも「大変興味がある。」「興味がある」が7割以上も占め，絵本の専門家に期待が寄せられていることが分かる。大学としても期待に添うように努めていきたい。

⑥ 問題6の趣旨及び結果と考察

認定絵本士について，どのようなことを知り

たいかを問うた問題である。

【新任教諭】



【中堅教諭】

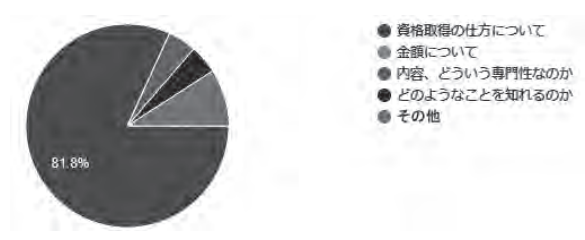


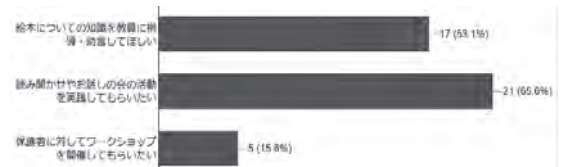
図12 認定絵本士について知りたいこと

新任教諭，中堅教諭とも資格取得の仕方が圧倒的に多かった。広報でも丁寧に答える必要があるだろう。

⑦ 問題7の趣旨及び結果と考察

認定絵本士に期待する活動について問うた。

【新任教諭】



【中堅教諭】



図13 認定絵本士に期待する活動

新任教諭，中堅教諭ともに，「読み聞かせやお話し会の活動を実践して欲しい」「絵本についての知識を教員に指導・助言して欲しい」と願っているのが5割以上であった。

⑧ 問題8の趣旨及び結果と考察

認定絵本士の資格を取得した学生に対して園が期待することを問うた問題である。

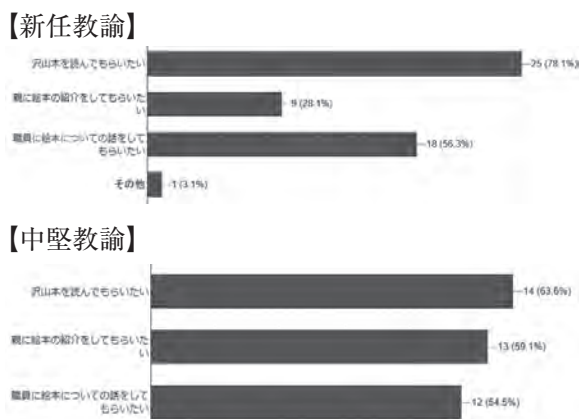


図14 園が認定絵本士に期待すること

新任教諭、中堅教諭ともに、「幼児にたくさんの本を読んでもらいたい」「教員に対しても指導をして欲しい」と願っている。新任教諭が親に対しての働きかけの割合が少なかった。認定絵本士の役割は地域にも絵本のよさを広めることが含まれるので、周知する必要がある。

⑨ 問題9の趣旨及び結果と考察

「認定絵本士」の資格を持っている学生の就職について問うた問題である。

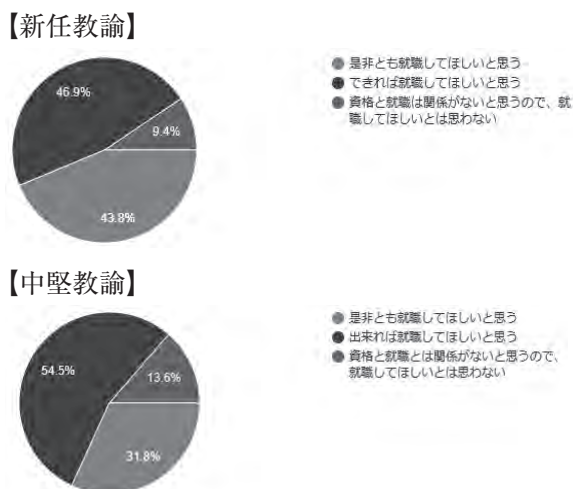


図14 園への認定絵本士の就職

新任教諭が「是非とも就職してほしい」43.8%に対して中堅教諭は31.8%と低く、期待値の差が見られる。まだ、園には認定絵本士の資格を有する保育者や幼稚園教諭がいないためだろう。

(2) 新規教諭及び中堅教諭の「認定絵本士」についての調査の全体考察

新任教諭と中堅教諭ともに認定絵本士について、興味は高いが、具体的な内容は理解されていないこと、子どもや教員などに対しての支援を望んでいることが分かった。

本学としては、もっと認知を上げるように広報活動をするとともに、今年度の第1期生の活躍に期待をしたい。

6 結論と今後の展望

今年の4月には、本学から第1期の「認定絵本士資格取得者」40名が小学校、認定こども園、幼稚園、保育所に就職をする。

学生は認定絵本士養成講座を受講することで、絵本への関心や興味が深くなり、絵本の魅力を子どもだけではなく、他の教員、保護者、地域に広げていこうという意欲や責任が高まったことが分かった。絵本に関する専門家であるゲストスピーカーを招いたこと、本学独自の絵本100選を必読書にしたこと、ガイドブックを作成したこと、大学図書館の絵本の部屋「おにコーンの部屋」の改造も相乗効果を生み出したと考える。

養成講座受講中には絵本も読むように声をかけ続けた。1年間で377冊もの絵本を読んだ学生も現れた。

また、認定絵本士を受け入れる就職先も、認定絵本士の資格者には、期待を寄せていることが分かった。

今後は、認定絵本士養成講座や認定絵本士についての広報活動を積極的に実施し、県内の小学校、認定こども園、幼稚園、保育所に周知し、認定絵本士が活躍できる環境を整えてもらうようにしていきたい。

7 引用・参考文献

- 1) 仲野悦子「言葉の育ちを豊かにする絵本 ―想像力と創造性をめざして―」岐阜聖徳学園大学教育実践科学研究センター紀要2022, pp.79-86
- 2) 村田康常, 黒岩菜由「絵本との『出あい』における子どもの想像力の躍動―絵本体験の独立峰的な高まりと連峰的な共有構造―」名古屋柳城女子大学研究紀要第2号2022, pp.33-53
- 3) 古川元視「大学生の絵本に関する調査研究の一考察―就学前から中学生までの絵本体験―」別府大学短期大学部幼児・児童教育研究センターレポート第40号2021, pp.19-26
- 4) 絵本専門士委員会独立行政法人国立青少年教育振興機構「認定絵本士養成講座テキスト」2020